

松戸市病院事業再編計画（案）住民説明会議事録③

日時：令和3年11月14日（日）10：00～11：30

場所：河原塚小学校体育館

出席者：河原塚地区地域住民24人

健康福祉部 笹川部長、大淵審議監、石原地域医療課長

病院事業 白井管理局長、林病院政策課長、池田東松戸病院総務課長

1. 職員自己紹介
2. 挨拶
(略)
3. 松戸市病院事業再編計画（案）概要について説明
(略)
4. 質疑応答

地域医療課長

これより質疑に移ります。今までの説明内容について、ご質問のある方やご確認をしたい方がいらっしゃいましたら、挙手の方お願いいたします。また差し支えなければ、町会名をお願いいたします。

質問者 A

今回の説明の中で、とにかく収益が赤字になっています。2点目が老朽化です。この二点を中心ではないかなと思っています。聞きたいのは平成5年度から国から引き受けた後に赤字なのかということです。また医療センターへの再編ということになります。医療センターと今回の東松戸病院のベッド数がどう変化をするのか。将来こういうベッド数になりますよということを知りたいです。それから3つ目です。現地の建て替えをした場合は費用がかかるのか？我々市民一人当たりがどれぐらい支出するのか教えてもらいたい。あと6号館、7号館の損傷が激し

いとなっていますが、他の建物の耐震の係数がどうなっているのか。最後に全国的に公的病院の再編の話が出ています。松戸は廃止の計画には積極的には入っていないと聞いています。松戸はその計画に入っていないのになんでこんなに急ぐのだと思っています。最後に皆さんが納得いくまで結論を出さないようお願いをしたい。以上です。

東) 総務課長

質問いただいた収支についてです。開設から10年15年と教えてほしいというお話だったんですけども、すいませんが資料がないので確かな数字は言えないんですけども東病院は開設当初、平成5年10月に開設したんですけども、その当時から少しずつ赤字でその赤字幅が増えてきたというようなかたちです。実は私も平成7年の時に東松戸病院いたんですけども、もう開設の始まった時から赤字でした。それと先ほどの耐震の6号館7号館以外ということなんですけども、資料の1枚目を見ていただきますと、1号館から5号館、5号館は診断の実施がまだですけど、こちら2階建てのものになります。耐震の基準より低いのは6号館だけで、7号館については耐震については大丈夫です。それから先ほど1号館から5号館の老朽化について、これについても建物自体が30年経っていますので、それぞれ老朽化は出ております。ただし、先ほどもお話したように患者さん側の診療とか、そういうものに支障が出ないように適時、改修を行っております。

病院政策課長

東松戸病院が廃止となってそれでセンターの方に一部の医療機能を移管した場合、そのベッド数がどうなるかというご質問でしたので、こちらについて答えをさせていただきます。まず現在、総合医療センターですけども、600床の規模の病院でございます。そのうち現在稼働できている病床は556になります。これは一般成人の病床は全部稼働しているんですけども、その他の病床は特殊病床、要するに新生児の病床とか、あと集中治療室等なんですけども、特に新生児小児の病床は専門の医師がなかなか集まらない。そういった状況があってそれで開けていない。その44床稼働しない病床がありますので、仮に東松戸病院の緩和ケアの機能を20床分総合医療センターの方に持っていっても、その未稼働の44床の枠の中で当面は、動かしていこうと思っています。従いまして、稼働の病床は

576床を目指すような形になろうかなと思っております。そしてあと次の質問、現地で建て替えた場合、規模にもよりますが、最低限の私どもの積算で55億円、あるいはそれ以上かかるかもしれないという状況で計算しましたが、それに対しての国からの補助金、どのぐらいかっていうのは、総合医療センターを建設した時は600床規模で検討協議して16億円ほど補助金をいただきました。これはあくまでも県との協議、県の予算の状況にもよるので、それで600床で16億円でしたので、仮に100床ぐらいですと、その10分の1の1億6000万円ぐらいという形になります。これ本当に県を通して、最終的には国になりますが、国と県のお金が入っての補助なので、協議の結果を見ないとなかなか分からない状況でございます。現在、病院の建設の補助金は急性期の病院に対しては、割と発行しやすいというような話も聞いております。そしてあともう一つは公立病院よりも民間の医療機関が、割増で優先とされております。私どもの公立ですと600床規模で16億円でしたが、これが民間で同じ病院を建てるとこれよりも多い補助金が出るというような話を県から伺いました。そして、次の質問にもちょっと関係してまいります。今回東松戸病院については国の方から廃止とか、そういった計画には示されてなかった、含まれていませんでしたということです。これについては確かに含まれておりませんでした。ただ、今総務省の方では地方自治体の経営する病院で、複数の病院があって、それが赤字になっているケースが非常に多いということで、国としてはそこをもう一度診療から、あるいは病院の性格をもう一度見直して民間の医療機関と連携を図って、再編を進めるように指導はいただいております。そして総務省の方、この再編ネットワークに指定されれば、そしてあと県の地域医療構想に盛り込まれた場合には、交付税等の措置がなされると、そういった方針は示されておりますが、明確にその金額については現在、把握はできていない状況です。

管理局長

コロナ関係のご質問もございましたので、少し状況を補足で説明させていただきます。簡単に言いますと東松戸病院のような回復期以降の急性期でない病院でコロナを受け入れている病院っていうのは県内でもほぼない状況で、東松戸病院でも受け入れを一時期、認知症の方の入院が問題になっていた時にやっておりまし

たが現在はやっておりませんし、もともとコロナのような患者さんを受け入れるには、不向きであるということでございます。また市内の公立病院の8割というようなお話もありましたが、やはり民間病院さん、なかなか受け入れが進まないところがございましたが、現状市内を見てみますと、ちょっと雑駁な話で恐縮ですが、半分以上は民間病院さんが受けていただいているような状況でございます。

質問者 B

2つほどお聞きしたいです。一つは、私がこの病院を廃止するというのを聞いたのが新聞からなんです。その前に、松戸市の方から知らされたこともなかったんです。それでなんで市のほうでそういう大切なことを市民に知らせる前に新聞報道が出てしまったのか。その辺の先ほどちょっと経過説明がありましたが、そういう風に進んでいるのであれば、ぜひ市民に知らせるべきだったのではないですか？それができなかった理由も教えてください。あともう一つがこの老朽化の問題ですが、その中で必ず建築物は、減価償却していきますので経営の内容の中では減価償却率っていうのがありましてちゃんと積み立てをしているはずですが、だからこの写真を見るとすごく放置していたんじゃないかっていうことは伺えるんですが、その点はどうだったのか。廃止するとして、老朽化が進んでいるっていう話をしていますが、すべて老朽化していきます。廃止ありきで放置していたんじゃないかと感じますが、その点はどうなのかを教えてください。以上です。

審議監

まず一点目でございます。皆様が新聞報道によりまして、この件についてお知りになったことにつきましては、大変申し訳なく思っております。ただしこちらの方といたしましては先ほどお話をしました通りですね、ずっと順序立てて、計画の方を作っております、9月の段階で市議会の方にこのご説明をさせていただくということで、こちらの方で動いていたとございます。その中で新聞の方に漏れてしまったという言い方が正しいか分かりませんが、情報としてこちらの方から公式にマスコミの方にはそういうお話しておりませんが、ああいう形で行ってしまったというところでございます。これにつきましてはこちらとしては遺憾な思いでございまして、市議会の方からも、その辺につきましても情報の管理を徹底ということで、お話をさせていただいたとございます。これは意図

的に決まっていたものを市としてマスコミ関係の方に先に流したというような経緯は全くございませんので、その辺はご了解いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

東) 総務課長

老朽化についてですが、先ほど減価償却の関係で積み立てをしていなかったのか、というご質問がありましたけれども、経理上は確かに減価償却費という経費はあります。ただしこれは赤字になっていけばいくほどそちらの積立額がなくなっていくます。そのため通常の収支がプラスマイナスであれば減価償却が1000万円あればそれは1000万円の積立となるのですが、それ以上の赤字になってしまうと、給料とか払わなければいけないという問題もありますので、それがなかなか積立できないという状況があります。それと建物についてこのままほっておいたのではないかということですが、故障とかですね、その都度改修等を行っております。ただ、コンクリート内部の工事などは、先ほど水道の話をしたと思うのですが、病院の運営を一旦止めないと大きな工事というのはなかなかできません。そういう問題がありまして、なかなか工事は進んでないということがございます。

病院政策課長

減価償却費のところで補足させていただきます。この病院の建物は、先ほど健康福祉部審議監から説明ありましたように国から払い下げを受けております。国の方でずっと病院として使っておりました。松戸市に譲渡されてからの期間が30年間で、当時の建物の譲渡代金が約4億4000万ぐらい。償却期間38年のうち、その前に国立病院の時に償却したものがもう20年分ぐらいありましたので、減価償却費自体も残った18年分といった状況になっております。そして、なかなか積立ができなかったっていうのは今、総務課長からお話した通りでございます。また設備の老朽化をずっと放置してきたのかという問題なのですが、今回の問題起きる前に一度旧市立病院の建て替えの時に、松戸市で将来この二つの病院をどうするのかという議論がありました。一旦、東松戸病院の医療機能を移して、日常支援的な病院にしようという、構想もございました。そういった構想がありましたことから東松戸病院の将来像っていうのは分からなかったというのがありまして、

大きな投資ができなかったような状況があります。なかなか方針が定まっていなかったというのが一つの原因でございます。

質問者 D

問題になっている赤字についてお聞きしたいです。患者数が減ってきたという話ですけれど、患者数を増やすということにどういう議論をして、どう改善策をされたのかっていうのを聞きたいと思います。その次に補修、減価償却の話がありましたけれども、病院を維持するためにどのようなことをしてきたのか。補助金に関しましても、国に対して強く訴えなければならぬと思いますが、どのようにやってきたのかお聞きしたい。また専門医がいないという話ですが、そういう努力がなければ放置したと思われる。また二つの病院がというような話もありましたが一般には知らせないまま今日に至っているわけですね。そのような件について丁寧な説明が必要だと思います。

東) 総務課長

外来患者さん入院患者さんを増やすどのような努力をしてきたかというご質問をいただいたかと思いますが、まず今コロナの中でなかなか行えていませんが、前までは院内で健康塾というものを開かせていただいております、地域の皆様に東松戸病院に足を運んでいただいて、先生の方から健康についてのお話をさせていただいて、少しでも外来の患者さんを増やしていくような努力を行っていました。あと今は地域包括支援センターですとか、地域の診療所に院長、看護局長と一緒に回りまして、紹介していただける患者さんがいればうちの病院に紹介していただくことを行っていました。ここ最近コロナの関係で、できない状況ですけれどもできる範囲の中で患者さんを集めるように職員一同で頑張っております。

病院政策課長

国や県からの補助金獲得のための努力ということでご質問いただきました。私どもの病院事業では毎年、国や県に対して補助金の増額あるいは新規にこういった事業に対しては補助金が欲しいという要望を出してございます。また別なチャンネルとして、私どもも加盟している全国自治体病院協議会、そこを通して厚生省

あるいは財務省の方に補助金の増額、医療関係の補助金の増額こういったものを要望してございます。また建て替えのような一度に大きな補助金になりますとやはり詳細な協議が必要となってまいりますので今後、増改築等の補助金についても県を通して、また国の方にも働きかけをして参りたいと考えております。

健康福祉部長

東松戸病院のあり方については、初めに審議監からご説明させていただきましたように、長い議論がございまして、その経過の中では、その専門家の先生方に、ご協議をいただいてご検討いただいて一回答申をいただいたという経過がございまして。その答申の中で令和元年度の決算をもって、今後どうしていくかを決めるべきだと言う回答をいただきました。実際その令和元年度の決算で、思うような経営改善計画の進捗がなかったという状況がございまして、そういう中では近隣の自治体、例えば船橋市さん、市川市さん、柏市さんと比べて松戸市は税収が少ない自治体でございまして、公立病院として今実際には市立総合医療センターの方の計画では600床で、東松戸病院で168床ですね。合わせましてその768のベッド数を抱えている自治体は他にございませぬ。県内最大の千葉市でさえもそれよりも低い病床数しかございませぬ。体力的にもとても厳しい状況でなんとか耐え忍んできたというのが実情でございまして。先ほどご説明させていただきましたような施設の劣化ですとか老朽化ですとか設備の劣化ということでこれを継続していくには大変大規模な財政支出を伴い、さらなる支出が相当厳しそうじゃないかという判断の中で官がやるよりも民間でやっていただいた方が、コストがかからずに国の補助金もありますので、官民の役割という中では大事な政策医療ですとか、三次救急といったお金にならない機能は医療センターで市がしっかりと継続していく。ただし民間に代わってやっていただけることができる機能については民間に代わっていただこうということで今回の計画を出させていただいた次第でございまして。

質問者 E

1号館から4号館までと、5号館以降の建物はなんか別扱いってことですか？6号館以降はあのコンクリートの建物で約50年経っているってことで1号館から4号館までは30年経ったっていうお話がありました。これは別扱いで1から4ま

では建物を残して、民間医療機関に入ってもらって回復期以降の医療をここでやるのですか。

東) 総務課長

今のご質問ですけれども、これは全部含めてです。ただし今回は何が問題かと言いますと、6号館が東松戸病院でいう入院する病棟です。他は患者さんが入院する病棟ではないのです。建物も6号館だけ4階建てで建物が一番古く耐震性能がないのでいろんなところで災害が起こっていますけれども、基準に満たないところに患者さんが入院していることが・・・。

質問者 E

それはわかります。3.68とか1.07の1号館から4号館でも、部分修理を行って使うのかはそれとも壊してしまうのか？

東) 総務課長

そこを使っていくのかっていうことですね。

質問者 E

エレベーターとかそういう故障は直せばいいわけだし。ここの河原塚小学校も40年以上経っていると思うんだけど、外壁を塗り替えたりしながら使っているわけじゃないですか。だから1号館から4号館まではこの数値なので30年しか経っていないってことなので修理しながら何かの形で活用しようと考えているのかなって理解したんですけど、それでいいですか？

管理局長

他の建物も含めまして、今後市の方で使う予定は考えておりません。一応計画の中では売却というような方向で考えております。具体的にどうやるかはまだ決まっておりません。参考までに旧市立病院を売却した時にはやはり同じように使える建物と使えない建物があるということで、そこについてはご提案いただきたいいろんな会社があるのですが、そちらの方で使うっていう提案があれば使わないという提案もあると、そういう形の中で使うかどうかっていうのは決めさせていた

できました。東松戸病院も今後どうする、その辺りどうしていくかっていうことについてはまだ決定しておりません。

質問者 E

参入業者が現れた時に、その建物をまだ30年しか経ってないから修理しながら医療に使えますってことなら、残るってこともあり得ると。

管理局長

そうですね、そういうところが出てくれば、そういう可能性がゼロではないと思っております。

質問者 F

地元の住人としては存続してほしいです。7号館とそれを壊して代わるものを作ってもらってという形にすれば、十分じゃないですか。その間市立病院で入院患者さんをお願いすれば運営できるのではないですか。前回の説明会では修理改修の部分では3年か5年かかるっていうお話もありました。そういうことができるのであれば、55億円もかけないでできるのではないかと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

質問者 G

日頃は、高齢者の見守り活動を東部地区でやっています。東松戸病院の位置づけというのは、この東部地区で高齢者にとって大事なものだと思っています。先ほどおっしゃいました健康塾といったものも受講して、高齢者が健康で長生きできる地区を作ろうと願っています。最近出ているのは、このコロナの中で安心して死ぬ場所がない、って言っています。死ぬにもお金がかかるし、自分たちが死ぬ間際になっても病気になっても子供たちや周りに迷惑をかけないっていう、そんな病院がなくなるっていうのは、もう生きるの嫌よねっていう声がとても多いです。そういう安心して、みんなが頼りにしているこの病院をなんでつぶそうとしているのですか。金の問題？いつでも最後は金の問題になりますけど、やっぱり社会保障っていうのは、こういう我々が生きていくのに欠かせないこういった施設をちゃんと守るのが行政だと思うんです。2つ目は、合併すればこの赤字がな

んで解消されるのか、ということをお聞きしたい。単に機能をなくす、要するに倒産させればそれで済む、というような気がするのですが、そんな風にとらえられます。なぜかという、民間でできることは民間で、ということになると、民間でできないことは行政がやると、そうすると民間でできないということは赤字だからできないということですよ、きっと。この論理は全く理解できないので、ご回答お願いします。

部長

民間でできることは民間でと先ほど申し上げました。というのも、国の制度が、民間が担っていただいた方がよりお金が出るという制度になっておりますので、財政力の低い松戸市が多くの病床を抱えるよりも、国からのお金が多く出るという、財政的事情もございます。

管理局長

緩和ケアにつきましては、病院事業としては必要な機能ということで、それについては、しっかり総合医療センターの方でやっていきたいと考えています。

質問者 G

私が病院に行った時に、病院の先生が、松戸は緩和ケアだとか、死のうとしているときにかかれる病院が余りにも少ない、民間のところでは受けられないけれど、もっと充実していかないと、松戸の医療はつぶれてしまう、と聞いたことがあります。だから、今の総合医療センターに開設するとしたら他の病床は減るのですか。

管理局長

600床の中で動いていない病床が44床あります。動いている病床はそのままいきますので、現在稼働している病床を少なくすることは考えておりません。ですので、新たに20床が増えると考えています。

質問者 G

ということは、余力を少なくするということですね。稼働していないということ

は余力で、何かあったときの病床なのでしょう？緩和ケアを開設することで、その余力が減ることに対しては、どう補充するのでしょうか。

管理局長

今動いていない病床の中には、非常に需要が大きくて先生方、特に新生児の先生方が足りなくて開けていない病床があります。そういうところはぜひ医師を確保して、開いていきたいと思っております。逆に、正直申し上げて、病床は作ったけれどもそれほど患者さんが集まらないというような、小児科などにつきましては少子化の影響もあって総合医療センターといってもそこまで患者さんが来ていないというところもありますので、そういうところを減らしていきながら緩和ケアを作っていこうと考えています。

質問者 G

医師が集まらないから減らすっていうのは、負のスパイラルに陥っていないですか。また赤字だから医療センターをつぶすっていうことになりませんか。今の若者たちが守っていかないといけない。高齢者は死ぬわけだから。その次の世代にどうやって引き継いでいくかっていうことを、医療の考え方として議論していたわけでしょ。今だけじゃなくて。今の若者が本来守っていこうとする医療体制を作っていこうとしているんでしょ。東松戸病院を含めて。そういう発想じゃないんですか。

管理局長

長期的な視点の中で、現状の需要に合わせて病床の方は用意させていただかないと経営的な問題は残るので、その都度、その時に最適な病床構成にしていきたいと考えています。

質問者 G

じゃあ、合併すれば赤字はなくなるという論理じゃなくて。

病院政策課長

赤字という考え方が非常に幅広いです。地方国営企業の場合、ほとんどの地方公営企業は一般会計から繰出金は何らかの形で入って運営されているのが実情でござ

ざいます。それで今、総合医療センターは、旧市立病院の時は、総務省で定められた基準に基づかない、いわゆる繰り出し基準外の病院運営に対する補填を何年かに一度、発生していました。年度の途中に補正を組みまして、9月とか3月に足りないから7億円とか9億円を補填していたのですが、総合医療センターに移転してからは、基準外の繰出金は発生しておりません。これは病院の運営が順調に動いてきたというところが非常に大きい部分ですけれども、今回緩和ケアの20床を移管しても、そちらについて何とか運営の方はできるだろうと見込んでおります。

質問者 H

先ほどは質問だけだったのですが、今回は意見も言わせていただこうと思います。民間でできるものは民間の医療機関に任せるけど、やっぱり困ったときは公的病院なんです。そういう問題もあるし、もう一つ大きな問題は、1号館から7号館までの底地の合計を見ると約12000から13000㎡ある。さらに梨香苑をいれるとどれくらいかわかりませんが、これだけ広い市の土地、公共用地をなぜ民間に引き渡すのか。医療センターを千駄堀にやって、その跡地はスーパーですよ。保育園なり幼稚園なりが入るみたいですが、メインはスーパーですよ。我々の敷地、12000なり13000㎡の土地をなんで民間に渡すのか。百歩譲って病院ができなくても、これから高齢化が進む中で福祉の関係になんか施設を再編しないのですか。小学校の2倍か3倍の敷地でしょう。これだけ広い土地ですよ。公共用地としてなかなかないわけですよ。この土地も売るんですよ。我々の財産をなんで民間の医療機関に売るんですか。残してくださいよ。それを福祉なり、老人施設を整備するとか、それが本来行政のやるべきことじゃないですか。何で売るんですか。公共用地ですよ。小さい自治会館なんかとは違うんだから。この小学校の2倍か3倍の土地を売ってしまう。こんな無駄なことないですよ。我々の土地だよ。市民の土地だよ。いろいろ問題があるかもしれないけど、底地の問題は、なんで売るんですか。という意見です。

質問者 H

今回のこういう場に出た意見は整理をしていただいて、どこかでオープンになるんですか。オープンにしてほしいんです。もちろん固有名詞は別にしてAさんB

さんで十分です。ぜひ残して、また市議会で議論があったりすると思うんです。必ず、正確に市議会に報告していただきたい。

質問者 I

この問題は、単に地域の紙敷とか高塚とかだけの問題だけではなく、松戸市全体の問題だと思うので、説明会をやるというのであれば、他の地域でもやってほしいと思いますし、私もあそこの病院にいったことはありますし、私の親しい友人もあそこで亡くなったりしまして、そういうことから印象深い病院です。認知症の関係で、松戸市で1番か2番の病院で高齢者に関しての講演も聞きましたけど、今の話を聞いていて、単に松戸市だけの考えではなくて国の方からの圧力もあることを感じておりましたけれど、そういうことも含めてきちんと松戸市全体に、50万の松戸市民に理解できるような方法を考えてほしいと思います。

質問者 J

まだ決まっていないのに、12月議会もあるのにもう今年度で看護師さん25人の異動がもう計画をされているというのはどういうことですか？廃止ということを前提にして看護師さん25人の異動が進められているんですよ。どんどん東松戸病院がさびれていくんですよ。決まっていないのに人事異動をするってどういうことですか。本当にわかりません。

東) 総務課長

どこからそういう情報を得たか分かりませんが、来年度看護師が、25人異動するというのは間違いです。来年度25人の看護師がいきなり異動したら東松戸病院は運営できませんので、その情報は間違いです。もし本当にその情報を確かだっというのでしたら私、総務課長まで連絡いただければと思います。そしてそれは間違いだということで、私の方からはっきり言いたいと思います。もう一度言いますが、来年の4月に看護師が25人異動していくということはありません。

質問者 K

平成30年度から令和元年度までの赤字縮小幅1億円は大幅な改善のように思えるんですがコロナというのはどこの病院でも経営を非常に圧迫していて、経営努力

していけば改善できるものだと考えているので、コロナを理由に廃止するのは納得できません。また介護老人保健施設の利用率 92.1%で空きがあるという発言でしたけれども、特養老人ホームは入居待ちをしてというような状況だと伺っています。梨香苑に入っている人が同じ費用負担で入れるような空きの施設があるのでしょうか？でなければこの数字は必要を満たしているというふうには判断できないと思います。

病院政策課長

平和元年度の決算では、前年の平成 30 年度より医療損益が改善されています。ただこれはかなり費用の方を削減しての収支改善であり、これがずっと継続できるかっていうとそれはできませんでした。令和 2 年度はコロナの影響が大きかったです。仮にコロナがなかったとして前年度のように順調に 1 億円以上の収支改善ということは難しいというふうに判断をしております。

東) 総務課長

梨香苑の関係につきまして市内で 9 割を超えているということで当初、東松戸病院に梨香苑ができた平成 5 年ですが、その時県内で旭神経内科の 50 床と東松戸病院の梨香苑の 50 床と、千葉県で 100 床から開始しました。介護保険施設というのは病院から在宅に帰る中間施設としてできました。もうそれから 30 年経ちまして地域包括ケアシステムの中で老健施設というのは市内でも 12 ヶ所に充実していますので、需要を満たしているということでございます。

質問者 K

梨香苑に入っている人が同じような費用負担でその空き施設に入れるかということをお伺いしたかった。そこを担保できないのであれば満たしているというふうには判断できないと思います。

東) 総務課長

介護保険施設は介護保険で運営されているので、本来介護についての請求点数はどここの施設でも一緒です。ただし利用料とか雑費関係で多少施設の色っていうのは出ています。ですから梨香苑と同等の施設もあればそれより高い施設もあるし、

もしかしたら安い施設もあるということです。施設によっていろんな形があると思います。

質問者 L

最後に一言いいたい。公的なところがなくなってしまうたら、本当に命をお金で考えるような世の中になってしまう。最後の砦、命の砦として公的な病院があるということ、梨香苑みたいな施設があるかどうか、今でも施設に入るのに待ちになっている人がたくさんいる。そのような中で廃止していこうというのは、また、コロナの第6波が来るかもしれない。第6波が来るような状況で民間の病院もなかなか受け入れができない。それを公的な病院が責任を持ってやってくれている。看護師さんも頑張っている。医者も頑張っている。そういう公的なところを利益が出ないから切り捨てるといっているのはおかしい。全国でも公的な病院はまだあります。それで国が税金を投入しています。公的医療は儲かるはずがない。それをわかっていて運営しているのに、なぜ、赤字・老朽化、老朽化っているのは防げます。減価償却も予算化していけます。それを廃止ありきで考えているからこういうことになるのではないですか。私は、絶対に東松戸病院の廃止は認められません。

地域医療課長

本日は貴重なご意見と承り、本当にありがとうございます。以上もちまして説明会を閉会させていただきます。